

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		青森県立はまなす医療療育センター		公表日		令和8年4月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 運営・ 備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	9	1	普段使用している教材の写真や実物を用いて実演しながら説明している。必要に応じて写真入りの参考資料等を訪問先に持参している。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	保育士、PT、OT、STと専門職が対応しているので十分に対応できていると思う。		
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1	担当スタッフで事前の情報共有と訪問後のカンファレンスを行っている。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	5	評価表を用いての話し合いが不十分だと思う。	スタッフ間で評価内容を共有していく必要がある。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2		支援についての話し合いは行われているが業務内容に関する意見交換の場は少ないため今後は業務内容に対する話し合いも行っていく。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	6	外部評価がある事を知らなかった。	スタッフ間で評価体制の周知が必要。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	6	サービス改善の為に研修が行なわれている。	訪問支援に関する研修は個人で参加していることが多く、法人での研修機会も検討したい。	
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	10	0			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	日頃から情報共有しながら行われている		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	7	3	計画の段階では不十分な事が多い。	計画を作成する前に利用者だけでなく、訪問先にも聴取する必要がある。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1	情報はしっかり共有出来ている。	担当スタッフ以外にも情報が共有されるとなおよい。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	4	ツールを用いる機会は少ないがアセスメントを行っている。ほぼインフォーマルなアセスメントが多い。	個々が各々のアセスメントを行っているので検討は必要。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	8	2	支援先の方針を尊重しながら適切な支援方法を提供できるよう心掛けた。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1	情報はしっかり共有出来ている。	担当スタッフ以外にも情報が共有されるとなおよい。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	訪問前に打ち合わせを行い、それぞれの職種で確認する事項を分担している。参加できないスタッフは必要に応じて資料を作成し、訪問員が状況を把握して支援を行っている。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0		支援終了後の形式的な話し合いの場の検討が必要。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	10	0			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	9	1		記録としては残しているが、支援の検証までに至らないケースもある。		
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	1		モニタリングが不十分。計画の見直しまでの至らないケースが多い。定期的なモニタリングをしっかりと行い、その時に合わせた計画をしっかりとたてていく必要がある。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	3		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	3	隣接する学校とは情報共有出来ているが他の学校とは不十分な事が多い。今後検討が必要。	他施設との連携や研修会参加など積極的に取り組む課題だと思う。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4	6		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4	6		参加できていない事が多い。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	日頃から保護者の思いを聞き取り、一緒に子供さんに必要な支援を考えながら行っている。家での様子を聞くことに	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	6		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	4	児発管が行っており、訪問スタッフ自身が行っていないので「いいえ」の回答も含まれる。	説明を誰がどのように行っているかも周知する必要がある。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	8	2		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	2		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	7	3		計画書の説明をする際には提示しているが、支援を行ってから説明には計画書は提示していない。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	10	0	親御さんから相談事があった場合、一人で答えるのではなく担当者、関わるスタッフみんなで相談し支援を行っている。	勉強会などの活動を積極的に行っていきたい。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	9		行っていない。個々への対応は充実しているように思うが保護者会などの連携は十分ではない。兄弟支援を特に行っていきたい。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	7		HPやSNS等受け取りやすい情報発信にもっと取り組むべきである。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	10	0	電話、メール、連絡ノートなどを利用し、適宜情報共有を行っている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5	5		訪問時の話し合いは行われているが、支援後の定期的なカンファレンスには至っていない。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	10	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	10	0		

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	3		家族へのマニュアル周知が行われていない部分が多い。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	4		安全計画は作成されているが、周知が不十分。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	1		保育所等訪問支援の中では身体拘束する部分がい当たらないので記載していないことが多い。必要な場合は記載している。